ILEC
Institute of Labor Education & Culture
通信No.32

2012年10月26日

編集・発行：社団法人教育文化協会
〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台3-2-11　連合会館内
tel 03-5295-5421　fax 03-5295-5422
URL　http://www.rengo-ilec.or.jp
発行責任者：木村裕士専務理事

第18回通常総会を開催

－2012年度事業計画・予算を決定－

（社）教育文化協会（ILEC）は、2012年9月21日に連合会館で第18回通常総会を開催し、2011年度の事業と決算報告を承認した後、2012年度事業計画および予算について決定しました。

今年度は、2013年7月1日の公益社団法人移行をめざした申請面の諸準備と申請に係わる事業計画の実施、移行後の事業活動の枠組みの検討を最優先の課題として、理事会のもとに設置した企画委員会と総務委員会で、引き続き精力的なご議論をいただきながら具体的な作業を進めていきます。あわせて、教育、文化、出版・広報の各事業については、教育文化協会の設立の趣旨をふまえ、これまでの蓄積を生かし、その発展・充実に努めていきます。

（1）教育事業

「Ｒｅｎｇｏアカデミー・マスターコース」は、これまでの経験・反省を踏まえつつ、第12回では、合宿日程の１日短縮と後期日程の統合なども含め、プログラムの効果的編成と効率的な運営に努めます。また、連合当該局と共催で、「労働法講座(基礎コース)」と「女性リーダー養成講座(PartⅠ、PartⅡ)」の企画・運営にも取り組みます。「連合寄付講座」は引き続き、同志社大学、一橋大学、埼玉大学での開講・運営に取り組むとともに、2013年度後期から法政大学キャリアデザイン学部での新規開設に向けた準備に取り組みます。また、2012年度後期から、連合山形が山形大学人文学部で、連合佐賀が佐賀大学経済学部で、それぞれ開設する地方版「連合寄付講座」について、財政支援も含め協力していきます。さらに、新たな開設に向けて、引き続き連合本部ならびに地方ブロック連絡会と連携して取り組んでいきます。

（2）文化、出版・広報の各事業

第9回「私の提言－『働くことを軸とする安心社会』の実現に向けて－」は、審査を経て、2012年10月3日の連合第63回中央委員会にて、入賞者の表彰と提言要旨の発表を行いました。

「第8回連合・ILEC幸せさがし文化展」（応募期間：2013年2月1日～5月15日）は、ジュニア特別賞とシニア特別賞を新設するなど、働く仲間とその家族の公募展として幅広い年齢層からの一層の参加を促すとともに、展覧会会場を連合定期大会会場の他、2カ所増やす予定です。

広報では、メールマガジンを通じて、当協会の事業のタイムリーな発信に努めて参ります。ILECホームページの「本と資料の紹介コーナー」、連合寄付講座講義要録の掲載等についても、どうぞご活用ください。

議事を進行する西原浩一郎議長

2012ー2013年度　社団法人教育文化協会
理事・監事・評議員・顧問一覧

（2012年9月21日現在、※は新任）

理　事　24名

役職名	氏　名	所属団体・役職	役職名	氏　名	所属団体・役職、職業
理事長	岡部　謙治	教育文化協会 理事長	理事	加藤　友康	情報労連 委員長
副理事長	南雲　弘行	連合 事務局長	理事	八野　正一	サービス・流通連合 会長
専務理事	木村　裕士	教育文化協会 専務理事	理事	種岡　成一	電力総連 会長
常任理事	長谷川一博	教育文化協会 常任理事	理事	藤井　一也※	私鉄総連 委員長
理事	島田　尚信	UIゼンセン同盟 副会長	理事	新田　豊作	NHK労連 顧問
理事	徳永　秀昭	自治労 委員長	理事	齊藤　憲夫※	労金協会 常務理事
理事	相原　康伸※	自動車総連 会長	理事	安久津正幸	全労済 常務執行役員
理事	有野　正治	電機連合 委員長	理事	堀江　湛	慶應義塾大学 名誉教授
理事	眞中　行雄	JAM 会長	理事	高木　郁朗	日本女子大学　名誉教授
理事	加藤　良輔※	日教組 委員長	理事	秦野　幹夫	毎日新聞社 論説顧問
理事	神津里季生	基幹労連 委員長	理事	若林　正人	エッセイスト
理事	臼杵　博	JP労組 委員長	理事	澤田陽太郎	一般社団法人 人的資源総合研究所 代表

監　事　3名

役職名	氏　名	所属団体・役職	役職名	氏　名	所属団体・役職
監事	磯部　行雄	連合 総合総務財政局長	監事	藤澤　洋二	海員組合 組合長
監事	永芳　栄始	JEC連合 会長			

評議員　7名

役職名	氏　名	所属団体・役職	役職名	氏　名	所属団体・役職、職業
評議員	佐藤　正幸	生保労連 委員長	評議員	久保田泰雄	連合総研 専務理事
評議員	山浦　正生	運輸労連 委員長	評議員	團野　久茂※	国際労働財団 専務理事
評議員	江森　孝至	フード連合 会長	評議員	松田　武彦	翻訳家
評議員	山口　浩一	交通労連 委員長			

顧　問　3名

役職名	氏　名	協 会 経 歴	役職名	氏　名	協 会 経 歴
顧問	西村　寿紀	元 専務理事	顧問	髙木　剛	前 Rengoｱｶﾃﾞﾐｰ校長
顧問	須藤　安三	元 副理事長			

【退任された役員の皆さま(敬称略)】

いままで、大変お世話になりました。

理　事　西原　浩一郎（自動車総連･前会長）　渡辺　幸一（私鉄総連･前委員長）
中村　譲（日教組･前委員長）　秋山 久美雄（労金協会･前常務理事）
評議員　高橋　由夫（国際労働財団･前専務理事）

Rengoアカデミー・第11回マスターコース修了式を開催

9月18日（火）、連合会館において「第11回マスターコース」修了式を行いました。25名の受講生は、昨年11月以降、計3回の集中合宿を終えた後、修了論文を作成、提出し、審査を経て、修了式を迎えました。

修了式では、岡部謙治理事長による主催者挨拶の後、古賀伸明Rengoアカデミー校長より修了生一人ひとりに修了証が手渡されました。修了式とその後の懇談会には、ゼミナールでご指導いただいた先生方や、修了生の出身組織代表者にもご出席いただき、激励の言葉をいただきました。修了生のみなさんの今後のご活躍を祈念いたします。あわせて、受講生を送り出していただいた各組織のご協力に感謝申し上げます。

なお、11月18日より第12回マスターコースが21名の受講生で開講いたします。各組織におかれましては、引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

修了式での記念撮影

第11回修了生および修了論文のテーマ

（敬称略）

ゼミ	修了生	論文のテーマ
毛塚	新谷　博美（サービス・流通連合）	雇用形態間の均等待遇を実現するために
	角田　貴理（労済労連）	労働時間の再定義ー在宅勤務の労働時間制の検討を通じてー
	山田 紀幸（連合静岡）	個別労使紛争の実態と労働組合の役割ー労働相談の現場、個別労働紛争の実態からー
	渡邉 武（自治労）	地方自治体の非正規職員の雇用安定と処遇改善ー公務の実態から考察するー
	堺 信夫（生保労連）	生命保険産業におけるパート・有期契約労働者の現状と今後の課題
高木	今村 聖治（自動車総連）	政治活動と労働組合ー希望ある将来のために組合活動がメディアを変えるー
	大谷 直子（JAM）	労働組合運動の再活性化ー組合結成の事例から考えるー
	酒井 伸広（労働金庫連合会）	メンタルヘルスへの労働組合のアプローチ ー職場の世話役としての役割・機能を果たせているかー
	鈴木 人司（連合本部）	連合体としての価値を高めるために ー「なぜ加盟しないのか。加盟を呼び込むために」への考察ー
	松永 優紀（公益財団法人総評会館）	労働組合の社会的役割を考えるー連合の東日本大震災への対応をめぐってー
田端	秋山 和義（基幹労連）	経済のグローバル化と日本の中間層ー鉄鋼業の就業構造変動から読み解くー
	坂井 俊文（運輸労連）	トラック運輸産業が社会のライフラインであり続けるためにーそのための労働組合の役割ー
	高橋 英樹（自動車総連）	産業の空洞化と労働組合の役割についてー日本にモノづくりを残すためにー
	花田 美和（JP労組）	労働組合が強化すべき活動についてー日本郵政グループ労働組合の事例ー
	本橋 あづさ（情報労連）	事業の海外進出に伴う組合活動のあり方
橋元	泉野 敦志（UIゼンセン同盟）	欧米の公契約の歴史と日本の公契約の展望ー公契約基本法制定に向けー
	笹川 尚美（JAM）	産業別労働組合の存在と役割の変化—企業別組合と組合員の関係の変化から—
	竹内 啓喜（情報労連）	いかにして組合員に組合の必要性を高められるか ー組合員の組合離れなのか組合の組合員離れなのかー
	望月 秀美（運輸労連）	トラック運輸産業の賃金水準を向上させるための一考察ー賃金格差の実態ー
	山本 芳幸（全労済）	労働組合は企業経営のあり方に関与すべきか ー組合員の雇用、働き方を守るために、今、労働組合にとって必要なことは何かー
廣瀬	池田 直彦（教育文化協会）	教育・文化活動を通じた連合の周知度アップ
	市川 千代（電機連合）	高齢期を見据えた職業能力開発・生涯学習の確立をめざして
	内田 敬子（日教組）	子どもの貧困と教育—ひとり親家庭の子どもたち—
	橋本 真理子（電力総連）	仕事と子育ての両立支援策の課題と労働組合の役割
	松本 洋次（連合福岡）	高齢者の「孤立死」を防ぐためのネットワークづくり

第9回「ー私の提言『働くことを軸とする安心社会』の実現にむけてー」
～入賞提言が決まりました～

第9回「私の提言－『働くことを軸とする安心社会』の実現にむけて－」運営委員会（委員長・岡部謙治(社)教育文化協会理事長）は、9月13日（木）に第2回運営員会を開催し、応募提言の審査を行いました。当事業は、連合から教育文化協会が受託して取り組んでいるもので、9回目を迎えた今回は、前回に引き続き「働くことを軸とする安心社会」の実現にむけた「提言」の募集を行い、12編の提言が寄せられました。

審査の結果、「優秀賞」1編、「佳作賞」2編、「奨励賞」1編の入賞提言を決定しました。今回、「優秀賞」を受賞された塙万里奈さんは、一橋大学において開講している「連合寄付講座」を受講された現役の大学生です。10月3日に開催された連合第63回中央委員会では、塙さんの表彰式を行うとともに、提言の要旨を発表していただきました。

第63回連合中央委員会で表彰を受ける塙万里奈さん

塙さんからは、「労働教育」の必要性、とりわけ小学校における労働教育の必要性が提起されるとともに、その実現に向けた具体的な提言が発表されました。

教育文化協会では、入賞提言4編を掲載した入賞提言集を発行し、会員組織に配布しております。ホームページにも掲載しておりますので、力作揃いの提言を是非ともご一読ください。

<入賞者一覧>

（敬称略）

賞	氏　名	所　属	提言名
優秀賞	塙　万里奈	東京学芸大学教育学部4年生 連合寄付講座受講生	「労働教育」の必要性と新たな提言 －小学校における「労働教育」の実現に向けて－
佳作賞	岩本　進也	情報労連　NTT労働組合 東京総支部執行委員	「働くことを軸とする安心社会」の実現にむけて －コミュニケーションの充実により、個人の生き方を肯定できる社会を目指して－
	玉川　浩嗣	JP労組　岩手南リアス支部 大船渡総分会	「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて
奨励賞	渡邊　暁	電機連合　パナソニックシステムネットワークス労働組合 中央執行委員	「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて ～労働組合ができること～

なお、次回は第10回目の募集という節目を迎えます。より多くの提言をお寄せいただけるような企画・運営に努めて参りますので、関係各位の一層のご理解・ご協力をお願いいたします。

2012年度後期　連合寄付講座　開講しました

10月１日(月)より、埼玉大学で連合寄付講座「働くということと労働組合」が開講しました。また、本年度より地方連合会による連合寄付講座も開講しています。10月4日(木)より山形大学で連合山形寄付講座が、10月5日(金)より佐賀大学で連合佐賀提供講座が開講しており、佐賀大学では、岡部謙治理事長が初回の講義を行いました。引き続き、ILECは地方連合会による連合寄付講座を積極的に支援していきます。

なお、埼玉大学の連合寄付講座は聴講することもできます。ご希望の方は、ILECホームページよりお申し込みください。

（埼玉大学「連合寄付講座」の様子）

（佐賀大学「連合佐賀提供講座」の様子）

埼玉大学連合寄付講座プログラム

日　程	講義テーマ	ゲストスピーカー
10/1	【開講の辞】連合寄付講座において埼玉大生に学んで欲しいこと 【課題提起】「働くということ」をどう捉えるか 一労働組合がめざす社会像とは	岡部謙治　（社）教育文化協会理事長
10/15	働くということと労働組合 一なぜ、労働組合が必要か	高木郁朗　（社）教育文化協会理事
10/22	今、働く場で何が起きているのか 一労働相談からみた職場の現状	田島恵一　連合中央アドバイザー
10/29	【仲間をつくる①】労働組合をつくる	瓦井芳幸　MEMC労働組合執行委員長
11/5	【仲間をつくる②】非正規労働者の組合加入をすすめる	松谷和重　フード連合会長代行
11/12	【よりよい職場をつくる①】労働時間を短縮する	鈴木恵子　アステラス労働組合副中央書記長
11/19	【よりよい職場をつくる②】公正な賃金・処遇制度を確立する	佐古正明　私鉄中国地方労働組合広島電鉄支部執行委員長
11/26	【よりよい職場をつくる③】男女がともに働きやすい職場をつくる	芳野友子　JUKI労働組合執行委員長
12/3	【仲間を守りつなぐ①】雇用と生活を守る一職場	高倉明　日産労連会長
12/10	【仲間を守りつなぐ②】雇用と生活を守る一地域	佐藤道明　連合埼玉事務局長
12/17	【仲間を守りつなぐ③】グローバル化に対応する 一グローバル枠組み協定の締結を例として	黒川剛　ミズノユニオン中央執行委員長 郷野晶子　ＵＩゼンセン同盟常任中央執行委員
1/7	すべての労働者が安心して働き、暮らせるセーフティネットの構築	菅家功　連合副事務局長
1/21	若年者雇用にかかわる課題とその対応	安永貴夫　連合副事務局長
1/28	教員によるまとめ	禹 教授
2/4	【修了講義】「働くということと労働組合一これから働く若い人にむけて一」	南雲弘行　連合事務局長

～　専門講座　これからの開催予定　～

各講座の開催につきましては、詳細が決まり次第、@ＲＥＮＧＯおよびＩＬＥＣホームページを通じてご案内しています。多数のご参加をお待ちしております。

日　程	講座名	場　所
2012年12月７日（金）～８日（土）	※第16期女性リーダー養成講座PartⅠ	東　京
2013年１月11日（金）～12日（土）	※第16期女性リーダー養成講座PartⅠ	京　都
2013年５月24日（金）～25日（土）	第16期女性リーダー養成講座PartⅡ	東　京

※現在、参加者を募集中です（東京開催は11月16日締切、京都開催は12月21日締切）。
当日のプログラム等、詳細はＩＬＥＣホームページにてご確認ください。

◆本と資料の紹介コーナー◆

ILECでは、みなさんに読んでいただきたい労働関係の本と文献を取り上げ、「おすすめ本」「議論を深める」「ルーツを求めて」「連合とそのまわりの刊行物」の4つのジャンルに分けてホームページで紹介しています。
3ヶ月毎を目処に更新しておりますので、ぜひご覧いただき、書籍の選択にお役立てください。

本と資料の紹介コーナー
Books and Documnts

ＨＰ上のバナーからご覧いただけます↑↑↑

◆メールマガジンにぜひご登録を!◆

昨年10月より、ILECの事業を広く知っていただくために、メールマガジンを配信しています。
内容は、マスターコースや各種専門講座、連合寄付講座聴講生の募集、ならびにホームページに新規掲載した内容（左記の「本と資料の紹介コーナー」「私の提言」など）です。
ホームページよりメールアドレスが登録できますので、ぜひご登録ください。↓↓↓

教育文化協会
メールマガジン

ー事務局より　退任･着任者からのごあいさつー

○教育文化協会に2年間お世話になり、文化展、一橋大学連合寄付講座、ILEC通信発行、総務等を2年間担当させていただきました。その間、役員、事務局員をはじめ、関係委員、アカデミー修了生の皆様方には、大変お世話になりました。10月からアジア連帯委員会（CSA）に出向することになりましたので、協会での経験を活かして、新たな分野で職責を果たしていきたいと思います。事務所は友愛会館内にありますので、機会がありましたら、是非お立ち寄り下さい。ありがとうございました。

（山岡みゆきディレクター…連合本部へ復帰、アジア連帯委員会へ出向）

○10月1日付で着任いたしました。気持ち新たに頑張ります。労働教育、文化事業等を学びながら、働くことの意義、ワークライフバランス、その他、労働をとりまく様々な課題について意識を深めていくことができればと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

（福政靖子ディレクター…連合本部より出向）

編集後記

今年も暑い日が長く続きましたが、ようやく過ごしやすい日々が訪れました。しかし、「電車の中は暑い！」と感じるのは、汗かきの私だけでしょうか・・・。
さて、教育文化協会は新たな事業年度を迎え、いよいよ公益社団法人移行に向けての具体的な作業に着手します。
これを一つの節目として、文字通り、「公益性」を意識した運営に努めつつ、教育、文化、出版・広報の各事業の推進・発展を通じて、連合運動、労働運動に寄与していきたいと考えております。みなさま方の引き続きのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。　（プリンス）

この印刷物は再生紙を使用しています。